

漁業の概要

九十九里から銚子にかけて親潮と黒潮がぶつかる栄養豊かな好漁場に集まるイワシ類、サバ類、アジ類、ブリ類などを漁獲するまき網漁業が営まれています。

本地域のまき網漁業は地元水産加工業者に加工原料を供給する重要な産業となっています。

まき網漁業は、遠く青森県沖など県域を越えて操業する大中型まき網漁業と千葉県沖で操業する中型まき網漁業がありますが、いずれも網船(中型は2隻、大中型は一部1隻)、探索船、運搬船で船団(1か統)を構成して周年操業しています。

夜間から明け方に操業することが多く、魚群を見つけるために自身の探索船のほか、九十九里では共同探索船の「くろしお」と各船が漁場の情報を共有しています。

対象魚種	イワシ類、サバ類、アジ類、ブリ類
漁船の規模	本船(網船)、探索船:14~199トン 運搬船:19~339トン
乗組員数	①大中型まき網:32~35人 ②中型まき網:25~28人
年間労働日数	①大中型まき網:海上150日、陸上150日 ②中型まき網:海上120日、陸上120日
技術習得期間	1年程度



まき網漁業の操業

漁業収入モデル (乗組員として新規就業時)

月給	20万円+歩合
賞与	—
備考	大中型まき網の場合

※漁師.jp求人情報より引用

※年、資源状況等によって変動することがあります。

年間操業計画例(大中型まき網)

対象魚種	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
マイワシ	←						→					
サバ類						→					←	→
マアジ						←				→		
ブリ類	←						→					←

1日の操業スケジュール例(大中型まき網)

▼漁場が近い場合

1:00	集合
1:30~4:00	出港・漁場へ移動
4:00~8:00	操業
10:00~11:00	帰港・水揚げ作業・メンテナンス等
11:00~	解散

▼漁場が遠い場合

20:30	集合
21:00~1:00	出港・漁場へ移動
1:00~6:00	操業
10:00~11:00	帰港・水揚げ作業・メンテナンス等
11:00~	解散

就業と漁労作業

まき網漁業は大人数で役割分担して操業するため、未経験者でも就業が可能です。

漁労作業としては、ソナー、魚探で魚群を探し、大きな網で魚群を囲みます。海中で網口を絞り込んで引き揚げていき、ある程度網を絞り上げたところで、運搬船の魚倉に大ダモで魚をすくい入れます。

新人は、まず網船に乗り、投網、囲い込み、水揚げに伴う網の送り出し、巻き揚げの作業や破網した網の補修作業に従事します。技術と経験を積んで各船の船長や船頭を目指すことになります。